

令和 7 年 4 月 1 日

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ヒーローサポート
住 所	松本市野溝東1-1-19
電話番号	0263-28-3311

事業所番号	2010200984
管理者名	高岡 由紀恵
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15 点
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	6	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		5 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		5 点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		5 点
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	3	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計
165 点 / 200点

注1 「生産活動収支の状況」の前年度及び前々年度の実績は「令和4年度及び令和5年度」又は「平成30年度及び令和元年度」のいずれかの期間の実績を算出すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間											
前年度（令和6年度）											
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間		34,367	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数		6,650	人	利用者の1日の平均労働時間数		5	時間
(Ⅱ) 生産活動											
会計期間（9月～8月）											
前々々年度（令和3年度）											
生産活動収入から経費を除いた額		34,507,912	円	利用者に支払った賃金総額		32,282,436	円	収支		2,225,476	円
前々年度（令和4年度）											
生産活動収入から経費を除いた額		34,241,769	円	利用者に支払った賃金総額		32,645,938	円	収支		1,595,831	円
前年度（令和5年度）											
生産活動収入から経費を除いた額		35,064,777	円	利用者に支払った賃金総額		34,802,288	円	収支		262,489	円
(Ⅲ) 多様な働き方											
前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）											
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度			②利用者を職員として登用する制度			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律					
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☒			◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒			在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒					
④フレックスタイム制に係る労働条件			⑤短時間勤務に係る労働条件			⑥時差出勤制度に係る労働条件					
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☐			◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒			◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☐					
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			⑧傷病休暇等の取得に関する事項								
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒			◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒								
(Ⅳ) 支援力向上											
前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）											
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			②研修、学会等又は学会誌等において発表			③視察・実習の実施又は受け入れ					
◎研修計画を策定している ☒			◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☐			◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☐					
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒			※研修、学会等名			※先進的事業者名 日本郵便株式会社					
※研修名 障害者職業生活相談員資格認定講習			実施日 月 日			実施日/参加者数 12月 3日 4人					
研修講師 長野労働局職業安定部職業対策課 奥谷和平氏			※学会誌等名			※他の事業所名					
実施日・受講者数 9月 26日 1人			掲載日 月 日			実施日/参加者数 月 日 人					
発表テーマ											
④販路拡大の商談会等への参加			⑤職員の人事評価制度			⑥ピアサポーターの配置					
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 ☐			◎職員の人事評価制度を整備している ☒			◎ピアサポーターを配置している ☐					
※商談会等名			◎当該人事評価制度を周知している ☒			◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐					
主催者名			人事評価制度の制定日 令和3年4月1日			※配置期間 月 日～ 月 日					
日時 月 日			人事評価制度の対象職員数 12名			就業時間					
内容			うち昇給・昇格を行った者 5名			職務内容					
			当該人事評価制度の周知方法								
			就業規則に記載、対象者へ口頭での周知								
⑦第三者評価			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等								
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐			◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている ☐								
※評価を受けた日 月 日			※認証を受けた日 月 日								
第三者評価機関			規格等の内容								
(Ⅵ) 経営改善計画											
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐											
※受理日 年 月 日											

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ヒーローサポート	事業所番号	2010200984
住 所	松本市野溝東1-1-19	管理者名	高岡 由紀恵
電話番号	0263-28-3311	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：マクセルイズミ株式会社 松本市笹賀3039 実施日程：指定受託日 利用者数：通所者選抜メンバーにて 実施した生産活動・施設外就労の概要： 中国からのコンテナデバンニング作業を行い、客先指定倉庫に搬入をする作業	<活動の様子> 
<目的> 個々の個性や能力を尊重し、自己実現を果たすための環境を提供することで、利用者と地域との接点や関係をつくり、地域での利用者の活躍の場を広げていくことを目的としている。	
<成果> 分担して繰り返し行うことで自分のやるべきことが見え、理解し、自信を持って取り組むことが出来てきた。また、実際に地域で行い、商品を店頭で目にする事で、より地域の中で働いていることを実感し、更に就労意欲が湧いてきている。	

連携先の企業等の意見または評価

コンテナデバンニング作業を依頼する前は弊社の社員で行っていたが、現在はヒーローサポートに依頼するようになり、時間管理を行うことで社員が他のことをすることが出来るようになった為、大変助かっているし有難く思っています。また、挨拶をしっかりとしている姿や、パレットへの荷積みが大変綺麗で整っており、安心して任せることが出来ています。 このような姿から、デバンニング作業だけではなく、商品のシール貼りや化粧箱の詰め替え作業、分解作業などをヒーローサポートへお願いすることで、多くの利用者さんに弊社の仕事に携わってもらう機会が生まれています。引き続き、弊社の作業を通して自分の夢や目標を追求出来るよう、全力でサポートしていきます。	
連携先企業名	マクセルイズミ株式会社
担当者名	家電調達課 課長 丹羽 潔 氏

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ヒーローサポート	事業所番号	2010200984
住 所	松本市野溝東1-1-19	管理者名	高岡 由紀恵
電話番号	0263-28-3311	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 研修内容：生活習慣病予防のための食事について 実施日程：令和7年3月5日(水)10:30～11:30 実施場所：ヒーローサポート物流センター 参加者数：35名(利用者及び職員)	<活動の様子> 
<目的> 利用者の年齢が上がってきたり、ひとり暮らしの方も多く、生活習慣病について改めて勉強する機会を設けた。生活習慣病を予防するためにはどのようなことが必要なのか、食事面では何に気を付けたら良いか、ひとりひとりが健康を意識した生活を送ることが出来るようにする。	
<成果> フードモデルや自己チェックシートなどを用いて分かりやすく説明を受けた。 塩分や糖分、カロリーについても食事の際に表記を気にしたり、1日の野菜の摂取量を自分の手を使って表すという表現であり、頭に残りやすい研修となった。	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

○利用者の中で健康診断を受けている割合が少ないことが分かった。まずは自分の体を知ることが大切であり、食事内容を意識したり、体重計に乗ったりと日々の中で出来ることはある。 ○働くために『からだ』は基本であり、バランスよく栄養を摂ることが大切である。 ○健康のことを意識したり学ぶ機会を今後も定期的に行うことで、利用者及び支援員全員の生活が少しずつでも生活習慣の向上に繋がることを期待したい。	
連携先企業（担当者）	松本市役所 健康福祉部 南部保健センター 課長補佐 高山 康子 氏

利用者からの意見・評価

○大変勉強になった。 ○食品表示を気にして見るようになった。 ○他にも体のことで気になることがある為、次回はそのことについて勉強をしたい。 ○とても分かりやすくてよかった。
--